

水道料金(従量料金)について

【第5回 村上市上下水道審議会】

- ・ 水道料金の従量料金について

(第2回資料)

村上市の水道料金改定の考え方

(第3回資料)

水道料金シミュレーション

シミュレーションパターン

財政収支シミュレーション

(第4回資料)

家庭用県内他市比較

大口使用者料金シミュレーション

平成31年4月24日

村上市水道局

水道料金の従量料金について

1. 基本的事項
2. 算定期間 平成32年度から平成36年度
3. 料金体系について
4. (新) 料金表
5. 改定時期
6. その他意見 (審議過程における意見等)

村上市の水道料金改定の考え方

本市の水道料金は、平成20年合併時、旧市町村の料金体系をそのまま引き継ぎました。その後、合併協定事項である料金統一のため、村上市上下水道料金統一検討委員会の審議を経て、平成26年度から平成30年度の間で基本料金を統一しています。

○料金算定方法

従量料金の統一に当たり、日本水道協会の「水道料金算定要領」を基に算定することも考えられますが、上下水道料金統一検討委員会では、統一前の料金体系が旧市町村で大きく異なっていたことから、経営努力の上、柔軟な対応により市民の負担を最小限に抑えて料金統一を実現するよう意見書をいただいています。

方 針

平成26年度の料金改定により、既に基本料金と基本水量を決定済みであり、水道料金算定要領を適用し、従量料金を算定した場合は、内容が整合しないため、水道料金算定要領にはよらず、現状の料金収入を確保することを基本とし算定する。

○基本料金と基本水量

基本料金は、各使用者が水使用の有無にかかわらず徴収される料金です。水道料金の体系は、主に用途別料金体系と口径別料金体系の二つの体系に区分されます。用途別料金体系とは、利用者の負担力が高い特定の用途（業務用）に対して高い料金を設定する一方、生活用水（一般用）に対しては低廉な料金を設定するものです。

また、基本料金に一定水量を付与する基本水量制は、その範囲内の水を自由に使用することで公衆衛生の向上に寄与することを目的とするもので、上下水道統一検討委員会の意見に基づき25mmまでの口径で10m³を付与するとともに、13mmについては、高齢者世帯など使用量の少ない世帯に配慮し、5m³までと10m³までの2段階の基本料金としています。

料金体系別基本水量別事業体数

料金体系別	用途別料金体系	口径別料金体系	その他	合計
基本水量あり	402(31.7%)	413(32.5%)	127(10.0%)	942(74.2%)
基本水量なし	2(0.2%)	312(24.6%)	13(1.0%)	327(25.8%)

「水道料金表 平成29年4月1日現在」（日本水道協会）より集計

方 針

基本料金及び基本水量については、平成26年度に改定し、市内全域統一しており、今回は改定を行わない。

○従量料金と逓増制

従量料金は、実使用水量に単位水量当たりの価格を乗じて算定し徴収する料金です。使用者群の差異にかかわらず均一とする均一料金制、多量使用を抑制する逓増制、多量使用を促進する逓減制などがあります。一般的に逓増制を採用している水道事業者の割合が多くなっています。一方で逓増の割合が大きくなるにつれ、大口使用者の中には膜処理技術の向上やコスト低下を背景に、水道から地下水利用へ転換する事例も増加しています。

(参 考)

料金体系別従量料金性質別事業体数

	均一	逓増	逓減
用途別料金体系	204(16.1%)	198(15.6%)	2(0.2%)
口径別料金体系	144(11.3%)	577(45.5%)	4(0.3%)
その他	64(5.0%)	74(5.8%)	2(0.2%)
合計	412(32.5%)	849(66.9%)	8(0.6%)

「水道料金表 平成 29 年 4 月 1 日現在」(日本水道協会)より集計

方 針

合併協議会では「従量料金は段階別逓増料金とする」となっており、市民への影響を最小限に留めるため、基本水量を超過した直近の水量を安価に抑えることができる段階別逓増制を採用する。

○一般用以外の料金の考え方

一般用以外の用途で、現在の村上市の料金体系では温泉旅館用、船舶給水用、公衆浴場用、私設消火栓があります。

方 針

一般用以外の温泉旅館用、船舶給水用、公衆浴場用、私設消火栓については、平成 26 年度の基本料金改定時に従量料金についても統一済みであることから、今回は改定を行わない。

□簡易水道料金

簡易水道事業とは、一般の需要に応じて水道により水を供給する水道事業のうち、計画給水人口が 101 人以上 5000 人以下のものです。水道事業は独立採算を原則としていますが、簡易水道は採算性の低い小規模な水道事業に、高率の国庫補助を行って水道を普及させる目的で設けられている側面もあるため、財源については料金収入のほか一般会計からの補てんも認められています。

方 針

合併協定及び上下水道料金統一検討委員会の意見書に基づき、市内全域の水道料金を統一することから、簡易水道料金については、上水道料金と同額とします。

段階的調整完了時(平成30年度)の料金表

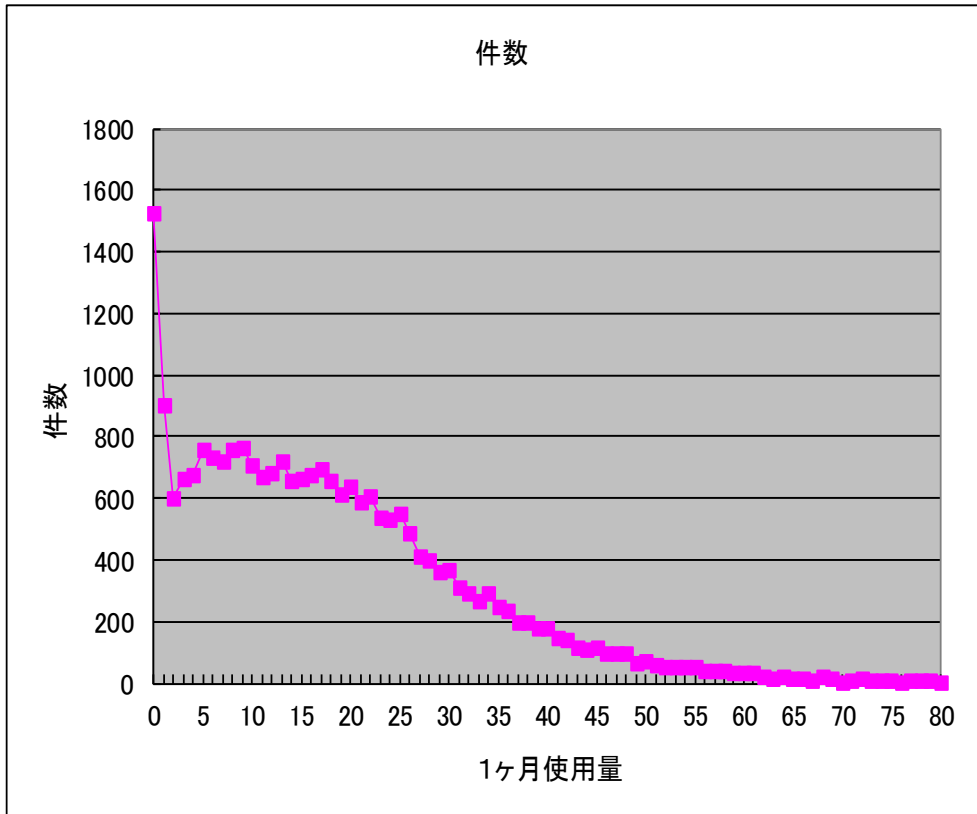
消費税抜き(単位:円)

種別	メーターの口径 及び用途		基本料金 (1月当たり)		地区別従量料金(1㎡当たり)													
			基本 水量	基本 料金	村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区									
上水道及び簡易水道	一般用	13mm	5㎡まで	1,200 円					100円									
			10㎡まで	1,400 円														
		20mm	10㎡まで	1,600 円						50㎡まで 125円	105円	20㎡まで 160円	185円	130円				
			10㎡まで	1,800 円														
		25mm	なし	2,000 円											100㎡まで 130円	50㎡まで 170円	51㎡以上 180円	150円
		30mm	なし	3,300 円														
		40mm	なし	8,000 円											101㎡以上 135円	185円	185円	150円
		50mm	なし	12,000 円														
		75mm	なし	18,000 円														
		100mm	なし	23,000 円														
	150mm	なし	23,000 円															
	温泉旅館用	40mm	なし	3,300 円	80円													
		50mm	なし	8,000 円														
		75mm	なし	12,000 円														
		100mm	なし	18,000 円														
		150mm	なし	23,000 円														
	公衆浴場用	-	-	-	80円													
	船舶給水用	-	-	-	140円													
	私設消火栓	-	-	-	1栓放水時間10分につき 1,200円													

備考

- ※表中の「温泉旅館用」とは、口径40mm以上で温泉旅館に使用するものをいう。
- ※表中の「公衆浴場用」とは、公衆浴場入浴料金の統制額の指定等に関する省令(昭和32年厚生省令第38号)に基づき、入浴料金の価格について統制を受けるものをいう。
- ※表中の「船舶給水用」とは新潟県港湾管理条例で規定する港湾において、船舶が寄港の際一時的に使用するものをいう。

上水簡水使用量別件数(調査月:平成29年3月)



月当り使用量範囲	件数	構成比	使用量	構成比
0 ~ 5	5,138	20.6%	10,611	1.8%
6 ~ 10	3,689	14.8%	29,507	5.0%
11 ~ 15	3,392	13.6%	44,054	7.5%
16 ~ 20	3,282	13.1%	58,911	10.0%
21 ~ 25	2,816	11.3%	64,607	10.9%
26 ~ 30	2,029	8.1%	56,518	9.6%
31 ~ 35	1,418	5.7%	46,670	7.9%
36 ~ 40	991	4.0%	37,524	6.4%
41 ~ 45	636	2.5%	27,266	4.6%
46 ~ 50	429	1.7%	20,507	3.5%
51 ~ 100	831	3.3%	52,523	8.9%
101 ~ 200	163	0.7%	23,169	3.9%
201 ~ 300	46	0.2%	11,268	1.9%
301 ~ 400	30	0.1%	10,315	1.7%
401 ~ 500	16	0.1%	7,160	1.2%
501 ~ 1000	29	0.1%	19,259	3.3%
1001 以上	29	0.1%	71,053	12.0%
計	24,964	100.0%	590,922	100.0%

水道料金シミュレーション（上水道）

1. シミュレーション条件

1) 算定期間 平成32年度～平成36年度まで

2) 給水人口の設定

○上水道 「村上市水道事業経営戦略」より (単位：人)

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
給水人口 予測	49,940	49,211	48,604	47,997	47,390	46,772	46,155	45,537	44,919
対H28 比	100.00%	98.54%	97.32%	96.11%	94.89%	93.66%	92.42%	91.18%	89.95%

※ 給水人口予測は、平成27年12月策定「村上市人口ビジョン」から算出しています。

3) 給水量の設定

○上水道 「村上市水道事業経営戦略」より (単位：千 m^3)

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
有収 水量 予測	6,240	6,182	6,110	6,037	5,965	5,891	5,817	5,744	5,670
対H28 比	100.00%	99.07%	97.92%	96.75%	95.59%	94.41%	93.22%	92.05%	90.87%

※ 世帯構成員が減少傾向にあるため、一般家庭で主に使用されている口径13-25mmについては、H29年度以降の使用量の変化を考慮の上、調整しています。(別紙2)

4) 給水件数の設定

○上水道（一般） 平成29年度決算データより

口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	一般計
給水 件数	226,234	16,206	3,755	259	1,649	1,174	310	46	12	249,645
構成比	90.62%	6.49%	1.50%	0.10%	0.66%	0.47%	0.12%	0.02%	0.00%	100%

○上水道（温泉）

口径	40mm	50mm	75mm	100mm	温泉計
給水 件数	36	127	48	12	223

○上水道（船舶）

口径	75mm
給水 件数	11

※ H29年度以降の料金算定においては、上記H29年度の件数で算定しています。

2. シミュレーションパターン

○参考 段階的調整完了時（平成30年度）の料金表（別紙1）

【パターンA】 「資料水道1」4ページ（第2回資料）の使用量構成比を考慮して設定した場合

【パターンB】 日本水道協会「水道料金改定業務の手引き」の検討例から設定した場合

【パターンC】 現行の村上地区の従量料金体系で設定した場合

1) 平成28年度決算基準（別紙3）

○平成28年度決算の給水収益898,000千円×5年分を算定期間5年間で、確保できるようにする。パターンは逓増料金別で設定する。

パターン	従量料金（1m ³ 当たり.税抜き）			
A1	～20 m ³	21～30 m ³	31～50 m ³	51 m ³ ～
	140円	145円	150円	155円
B1	～20 m ³	21～50 m ³	51～100 m ³	101 m ³ ～
	140円	145円	150円	155円
C1	～50 m ³	51～100 m ³	101 m ³ ～	
	145円	150円	155円	

2) 村上市水道事業経営戦略基準（別紙3）

○経営戦略（投資・財政計画：別紙4）の料金収入を算定期間5年間で、確保できるようにする。パターンは逓増料金別で設定する。

パターン	従量料金（1m ³ 当たり.税抜き）			
A2	～20 m ³	21～30 m ³	31～50 m ³	51 m ³ ～
	130円	135円	140円	145円
B2	～20 m ³	21～50 m ³	51～100 m ³	101 m ³ ～
	130円	135円	140円	145円
C2	～50 m ³	51～100 m ³	101 m ³ ～	
	135円	140円	145円	

別紙3 シミュレーションパターン（税抜き）

●村上市水道経営戦略基準

経営戦略計画の料金収入を算定期間5年間で確保するパターン

経営戦略（投資・財政計画）のH32～H36年度料金収入合計	4,290,059,000
-------------------------------	---------------

パターンB2

	基本料金	一般 従量料金				計	温泉旅館用	船舶給水用	合計
		～20m ³ 以下	21～50m ³ 以下	51～100m ³ 以下	101m ³ 以上		80円/m ³	140円/m ³	
		130円/m ³	135円/m ³	140円/m ³	145円/m ³				
H32	360,064,900	48,426,690	218,063,880	48,684,020	161,844,360	837,083,850	43,559,040	122,780	880,765,670
H33	360,064,900	48,137,570	214,597,485	45,881,920	158,618,400	827,300,275	43,042,480	121,380	870,464,135
H34	360,064,900	47,813,220	211,115,565	43,131,760	155,422,165	817,547,610	42,525,920	119,840	860,193,370
H35	360,064,900	47,477,300	207,674,010	40,442,220	152,282,915	807,941,345	42,016,400	118,440	850,076,185
H36	360,064,900	47,083,140	204,161,850	37,795,660	149,146,855	798,252,405	41,499,920	116,900	839,869,225
合計	1,800,324,500	238,937,920	1,055,612,790	215,935,580	777,314,695	4,088,125,485	212,643,760	599,340	4,301,368,585

差 11,309,585

パターンC2

	基本料金	一般 従量料金				計	温泉旅館用	船舶給水用	合計
		～50m ³ 以下	51～100m ³ 以下	101m ³ 以上			80円/m ³	140円/m ³	
		135円/m ³	140円/m ³	145円/m ³					
H32	360,064,900	268,353,135	48,684,020	161,844,360		838,946,415	43,559,040	122,780	882,628,235
H33	360,064,900	264,586,500	45,881,920	158,618,400		829,151,720	43,042,480	121,380	872,315,580
H34	360,064,900	260,767,755	43,131,760	155,422,165		819,386,580	42,525,920	119,840	862,032,340
H35	360,064,900	256,977,360	40,442,220	152,282,915		809,767,395	42,016,400	118,440	851,902,235
H36	360,064,900	253,055,880	37,795,660	149,146,855		800,063,295	41,499,920	116,900	841,680,115
合計	1,800,324,500	1,303,740,630	215,935,580	777,314,695		4,097,315,405	212,643,760	599,340	4,310,558,505

差 20,499,505

財政収支シミュレーション

パターンB 2

項目	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
1. 業務の概況					
給水人口予測 (人)	47,390	46,772	46,155	45,537	44,919
有収水量予測 (千m3)	5,965	5,891	5,817	5,744	5,670
総収益 (千円)	1,037,635	1,025,888	1,013,766	1,002,350	990,741
経常収益 (千円)	1,037,632	1,025,885	1,013,763	1,002,347	990,738
営業収益 (千円)	913,265	902,964	892,693	882,576	872,369
給水収益 (千円)	880,765	870,464	860,193	850,076	839,869
総費用 (千円)	956,281	929,375	909,375	887,119	863,396
経常費用 (千円)	956,186	929,280	909,280	887,024	863,301
営業費用 (千円)	876,415	856,377	843,274	827,803	810,458
経常利益 (千円)	81,262	96,421	104,299	115,139	127,253
純利益 (千円)	81,354	96,513	104,391	115,231	127,345
流動資産 (千円)	480,296	469,666	453,549	439,984	481,013
流動負債 (千円)	436,234	438,347	432,462	424,040	404,114
2. 収益性に関する項目					
総収支比率 (%)	108.51	110.38	111.48	112.99	114.75
経常収支比率 (%)	108.52	110.40	111.49	113.00	114.76
営業収支比率 (%)	104.20	105.44	105.86	106.62	107.64
3. 財務比率に関する項目					
流動比率 (%)	110.10	107.14	104.88	103.76	119.03
4. 料金に関する項目					
給水原価 (円・銭/m ³)	158.62	156.05	154.60	152.69	150.49
供給単価 (円・銭/m ³)	173.95	174.14	174.28	174.50	174.73
料金回収率 (%)	109.67	111.60	112.73	114.29	116.11

パターンC 2

項目	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
1. 業務の概況					
給水人口予測 (人)	47,390	46,772	46,155	45,537	44,919
有収水量予測 (千m3)	5,965	5,891	5,817	5,744	5,670
総収益 (千円)	1,039,498	1,027,739	1,015,605	1,004,176	992,552
経常収益 (千円)	1,039,495	1,027,736	1,015,602	1,004,173	992,549
営業収益 (千円)	915,128	904,815	894,532	884,402	874,180
給水収益 (千円)	882,628	872,315	862,032	851,902	841,680
総費用 (千円)	956,281	929,375	909,375	887,119	863,396
経常費用 (千円)	956,186	929,280	909,280	887,024	863,301
営業費用 (千円)	876,415	856,377	843,274	827,803	810,458
経常利益 (千円)	83,125	98,272	106,138	116,965	129,064
純利益 (千円)	83,217	98,364	106,230	117,057	129,156
流動資産 (千円)	482,159	473,380	459,102	447,363	490,203
流動負債 (千円)	436,234	438,347	432,462	424,040	404,114
2. 収益性に関する項目					
総収支比率 (%)	108.70	110.58	111.68	113.20	114.96
経常収支比率 (%)	108.71	110.59	111.69	113.21	114.97
営業収支比率 (%)	104.42	105.66	106.08	106.84	107.86
3. 財務比率に関する項目					
流動比率 (%)	110.53	107.99	106.16	105.50	121.30
4. 料金に関する項目					
給水原価 (円・銭/m ³)	158.62	156.05	154.60	152.69	150.49
供給単価 (円・銭/m ³)	174.27	174.46	174.59	174.82	175.05
料金回収率 (%)	109.86	111.80	112.94	114.50	116.32

1 家庭用県内他市比較

※H30.6月現在 村上市調べ

(口径13mm月額 税抜き)

1カ月 20㎡使用の場合		1カ月 30㎡使用の場合	
	円		
	6,900		
	6,800		
	6,700		
	6,600		
	6,500	南魚沼6,505	
	6,400	佐渡6,435	
	6,300		
	6,200		
	6,100		
	6,000		
	5,900		
	5,800		
	5,700		
	5,600		
	5,500	胎内5,504	
	5,400		
	5,300		
	5,200	十日町5,200	
	5,100	朝日5,100	
	5,000		
	4,900		
	4,800		
	4,700	神林4,700	
	4,600	阿賀野4,600 上越4,605	
	4,500	柏崎4,525	
	4,400	小千谷4,420	
	4,300	三條4,300 新発田4,335 長岡4,380	
	4,200	燕4,260 妙高4,270	
	4,100	C2 4,100	
	4,000	B2 4,050	
	3,900	村上3,900 五泉3,960	
	3,800		
	3,700		
	3,600	胎内3,652	
	3,500	荒川3,500 加茂3,510 見附3,550 魚沼3,560	
	3,400	山北3,400	
	3,300		
	3,200	新潟3,290	
	3,100		
	3,000	神林3,000	
	2,900		
	2,800	上越2,935 燕2,950 小千谷2,970	
	2,700	柏崎2,800	
	2,600	B2 2,700 三條2,720 C2 2,750	
	2,500	新発田2,605 五泉2,630 村上2,650	
	2,400	山北2,400 荒川2,450 妙高2,470	糸魚川2,410
	2,300	魚沼2,340 見附2,350	
	2,200	長岡2,250 新潟2,270 加茂2,290	
	2,100		
	2,000		
	1,900		
	1,800		
	1,700		
	1,600		
	1,500	糸魚川1,560	
	1,400		
	1,300		
	1,200		
	1,100		
	1,000		

※糸魚川市は、糸魚川区域料金。妙高市は、新井区域料金。

3-1 大口使用者料金シミュレーション(地区別)

[現行水道料金順の上位50使用者、パターンB2]

順位	水道用途区分	水道口径	月平均水道 使用量	現行水道 料金(税抜)	パターンB2	差額	改定率	地区
1	C 温泉旅館	100mm	14,969	1,215,520	1,215,520	0	100.00%	村上
2	9 工場	150mm	6,091	844,535	905,345	60,810	107.20%	村上
6	8 病院	50mm	3,161	433,985	465,495	31,510	107.26%	村上
8	C 温泉旅館	75mm	4,756	392,480	392,480	0	100.00%	村上
9	C 温泉旅館	50mm	4,739	387,120	387,120	0	100.00%	村上
10	5 施設	50mm	2,514	346,640	371,680	25,040	107.22%	村上
12	7 店舗	75mm	2,111	296,235	317,245	21,010	107.09%	村上
17	C 温泉旅館	50mm	2,936	242,880	242,880	0	100.00%	村上
18	8 病院	75mm	1,637	232,245	248,515	16,270	107.01%	村上
21	8 病院	100mm	1,258	187,080	199,560	12,480	106.67%	村上
23	3 共同住宅	50mm	1,290	181,400	194,200	12,800	107.06%	村上
25	C 温泉旅館	50mm	2,062	172,960	172,960	0	100.00%	村上
27	C 温泉旅館	75mm	1,895	163,600	163,600	0	100.00%	村上
29	C 温泉旅館	50mm	1,894	159,520	159,520	0	100.00%	村上
35	C 温泉旅館	50mm	1,685	142,800	142,800	0	100.00%	村上
36	7 店舗	40mm	974	134,040	143,680	9,640	107.19%	村上
39	8 病院	50mm	860	123,350	131,850	8,500	106.89%	村上
41	8 病院	40mm	809	111,765	119,755	7,990	107.15%	村上
43	C 温泉旅館	75mm	1,212	108,960	108,960	0	100.00%	村上
44	B 学校	75mm	654	99,540	105,980	6,440	106.47%	村上
45	C 温泉旅館	50mm	1,116	97,280	97,280	0	100.00%	村上
47	9 工場	75mm	611	93,735	99,745	6,010	106.41%	村上
48	B 学校	50mm	599	88,115	94,005	5,890	106.68%	村上
49	9 工場	50mm	596	87,710	93,570	5,860	106.68%	村上
3	9 工場	50mm	6,550	695,750	956,900	261,150	137.54%	荒川
11	8 病院	75mm	2,925	319,125	435,275	116,150	136.40%	荒川
13	6 事務所 事業所	75mm	2,531	277,755	378,145	100,390	136.14%	荒川
22	A 官公庁	50mm	1,679	184,295	250,605	66,310	135.98%	荒川
42	7 店舗	50mm	980	110,900	149,250	38,350	134.58%	荒川
50	B 学校	75mm	705	86,025	113,375	27,350	131.79%	荒川
5	7 店舗	50mm	2,434	445,420	360,080	-85,340	80.84%	神林
15	A 官公庁	40mm	1,488	270,440	218,210	-52,230	80.69%	神林
30	7 店舗	20mm	868	155,540	125,310	-30,230	80.56%	神林
32	7 店舗	30mm	852	154,660	124,690	-29,970	80.62%	神林
33	A 官公庁	50mm	769	145,720	118,655	-27,065	81.43%	神林
34	A 官公庁	50mm	757	143,560	116,915	-26,645	81.44%	神林
38	7 店舗	40mm	688	126,440	102,210	-24,230	80.84%	神林
46	A 官公庁	50mm	485	94,600	77,475	-17,125	81.90%	神林
7	5 施設	50mm	2,268	427,580	336,010	-91,570	78.58%	朝日
14	5 施設	40mm	1,468	274,880	215,310	-59,570	78.33%	朝日
16	6 事務所 事業所	25mm	1,322	244,520	191,340	-53,180	78.25%	朝日
20	6 事務所 事業所	50mm	991	191,335	150,845	-40,490	78.84%	朝日
24	C 温泉旅館	50mm	2,142	179,360	179,360	0	100.00%	朝日
26	5 施設	30mm	878	164,430	128,460	-35,970	78.12%	朝日
28	6 事務所 事業所	40mm	864	163,140	127,730	-35,410	78.29%	朝日
37	B 学校	75mm	625	127,625	101,775	-25,850	79.75%	朝日
40	6 事務所 事業所	50mm	587	116,595	92,265	-24,330	79.13%	朝日
4	7 店舗	50mm	3,378	514,700	496,960	-17,740	96.55%	山北
19	9 工場	50mm	1,410	219,500	211,600	-7,900	96.40%	山北
31	6 事務所 事業所	50mm	978	154,700	148,960	-5,740	96.29%	山北

※月平均使用量は、直近12ヶ月(平成29年10月調定から平成30年9月調定)の平均使用量